



広報

つがる

2005

8.15

No.13

●市の人口と世帯数(平成17年8月1日現在) 人口 40,120人(男 19,271人/女 20,849人) 世帯数 13,121世帯



★バス市からの訪問団★

きづくりネプタに感激

7月28日、姉妹都市関係にある米国メイン州バス市から、中学生など15人の訪問団が来訪しました。

バス市は、旧車力村と平成5年9月に、姉妹都市締結をし、中学生が相互訪問するなど交流を続けています。訪問団は、チェスポロー号記念公園の遭難慰霊碑を訪れたあと、きづくりネプタを見物したもので、跳ね人に手を引かれ踊りに参加した訪問団は、興奮しながら囃子に合わせ跳ねていました。

主 内 容

柏市とふるさと交流都市締結・白老町と姉妹都市締結	
つがる市姉妹都市協会を設立	2
三新田まつり・上原げんと杯・上原げんと忌	3
第1回つがる市花火大会	
行政改革推進委員会を設置	4
第1回つがる市民健康マラソン大会	
第1回つがる市長杯小・中学校サッカー大会	
第1回つがる市長杯ゲートボール大会	5
出来島海水浴場海開き・フラットで納涼祭	
レンゲツツジを植樹・縄文メロンアワードを開催	6
赤ちゃんふれあい・健康推進課だより	7
街の話題	8~9
おしらせ	10~11
きづくりネプタまつり	12

柏市とふるさと交流都市締結



調印する本多市長(左)と福島市長

七月二十三日、千葉県柏市役所で柏市と、ふるさと交流都市提携を結びました。

また、この日は神奈川県綾瀬市、福島県只見町との合同調印式が行われました。

調印式では、福島市長、本多柏市長がふるさと交流都市提携の協定書、防災協定書に署名し、末永い交流を誓いました。

旧柏村と柏市は、同名自治体であることを縁に平成六年から「ふるさと交流都市」を提携し

ており、これまで築いてきた友好関係を、つがる市として引き継ぐことから、この日の調印式の運びとなりました。

調印式の後、福島市長は柏ま



本多市長(左2人目)らと握手する福島市長

つりのオープンセレモニーへ出席しテーブルカットを行いました。また、つがる市からお祭り広場に出店し、りんごジュースとアップルパイの販売をしました。



テーブルカットする福島市長

つがる市 姉妹都市協会を設立

七月二十日、生涯学習交流センター松の館で、「つがる市姉妹都市協会」設立総会が行われました。

この協会は、市民が中心となり気軽に参加、参画し、交流を積極的に推進する組織として設立されたもので、伊藤良二発起人代表は「姉妹都市交流を、民間が主体となり取り組むことにより、人と人との交流、心と心の交流を通じて、市民一人ひとりが世界に目を開き、新生つがる市の二十一世紀への新たな飛躍へ貢献できると考えています」とあいさつしました。

総会では、名誉会長に福島弘芳市長、会長に野呂充志商工会長が選ばれ、今年度の事業などが承認されました。

白老町と姉妹都市締結



調印する鮎谷町長(左)と福島市長

七月三十一日、北海道白老町と姉妹都市提携を結びました。

市役所で行われた調印式には、つがる市から福島市長ら十三人、白老町から鮎谷町長ら六人が出席して行われ、福島市長、鮎谷町長が姉妹都市提携の協定書に署名し、相互の交流促進を誓い合いました。

旧森田村と白老町は、旧白老村長の平田源三氏が森田村出身ということで、平成三年十月に姉妹都市提携を結び、人的交流や特産品の販売を通じた経済交



鮎谷町長(左)と握手する福島市長

流などを続けてきており、つがる市がその提携を引き継いでものです。

調印を終えた福島市長は、「旧森田村の交流事業を引き継ぎ、文化、スポーツ、経済の交流がますます盛んになることを期待する」と述べ、鮎谷町長は「経済交流を大きな木に育てて行きたい。二十一世紀を担う子供たちを中心に、民間レベルでの交流が進むことを期待したい」とあいさつしました。

協定書を交わし、市旗と町旗、記念品を交換して友好を誓いました。

その後、鮎谷白老町長らは、つがる地球村で行われた、第一回つがる市花火大会を堪能しました。



松の館で行われた設立総会

賑わう歩行者天国 三新田まつり

願いをこめられた灯ろう



灯ろう流し

七月二十日、下木造の古田川で夏の風物詩となっている灯ろう流しが行われ、「家内安全」「水難防止」「交通安全」と書かれた灯ろうが、次々とかっぱ広場から流されました。

三新田まつり



弥三郎踊り保存会、森田弥三郎節保存会による流し踊り

三新田まつりが七月二十一日から二十四日まで木造で行われました。夜店まつりでは、木造の中心商店街を歩行者天国とし、多彩な催し物で賑わいました。オープニングでは、弥三郎踊り保存会、森田弥三郎節保存会による流し踊りが披露され、イカ釣り、ミニネプタの展示、カラオケ大会などの催し物があり、多くの市民らが夏の夜を楽しみました。

第27回 上原げんと杯

七月二十四日、木造中央公民館で、三新田まつりの最後を飾る「第二十七回上原げんと杯争奪のど自慢大会」が、特別審査員の中川博之先生を迎え、予選を通過した三十名によって競われました。つがる市からは、予選を勝ち抜いた、岡元忠幸さん、外



優勝した斎藤さん(右)瓜田さん(左)が再び熱唱

上原げんと忌

七月二十四日、銀杏ヶ丘公園で上原げんと忌が行われ、げんと氏の関係者や上原げんと杯出場者と特別審査員の中川博之先生らが参列し、げんと氏を偲んで献花しました。



献花する上原げんと杯出場者

崎治夫さん、長谷川純也さん、三上博昭さん・みつ子さん、鈴木啓二さんが準決勝から決勝に進出しました。大会は、斎藤崇さん・瓜田善貴さんペア(鶴田町)が見事優勝、長谷川純也さんが準優勝、岡本忠幸さんが三位でした。

つがる市誕生記念

第一回つがる市花火大会



大輪に酔いしれる

七月三十一日、つがる地球村で、第一回つがる市花火大会が行われ、夜空に咲いた二千五百発の花火が、訪れた多くの観客を魅了しました。

日が落ちた午後七時半すぎから始まった花火大会は「光と音の競演2005」「つがる市大響」など連発仕掛けの超特大スターマインや創造花火などが次々と打ち上げられました。

当日は、薄雲が低く悩まされたものの、夜空に咲いた色鮮やかな大輪の花に、会場を埋めた家族連れらが歓声上げて楽しんでいました。



行政改革を推進

十月答申を目指す

七月二十九日、行政運営を効率的に行うための行政改革大綱と、具体的な取り組みを示す集中改革プランを策定する行政改革推進委員会を設置しました。

委員会は、公募した市民ら十人で構成され、福島市長が委嘱状を交付、会長には成田悦雄氏を選ばれました。

大綱とプランは、今年度から平成二十一年度までの五年間の取り組みを定めるもので、①事務事業の再編、統合②民間委託の推進③職員定数の適正化などについて、具体的な数値目標を定めながら検討していくことにしています。

委員会は十月までに答申をまとめ、来年一月をめどに大綱、プランを公表することになっています。



福島市長から委嘱状を受ける成田会長

結 果

【小学生4年生以上男子の部 3km】

- 1位 神 航大 (鰐ヶ沢町)
 2位 角田 知弥 (五所川原市)
 3位 木村啓太郎 (柏広須)

【中学生男子の部 3km】

- 1位 島谷 勇吾 (柏下古川)
 2位 木津 佑輔 (柏下古川)
 3位 小関 修平 (柏上古川)

【高校男子の部 6km】

- 1位 工藤 裕介 (森田町床舞)
 2位 成田 惇平 (柏下古川)
 3位 川浪 寿也 (木造浮巢)

【一般男子の部 6km】

- 1位 長内 充 (青森市)
 2位 吉田 匡克 (木造越水)
 3位 川越 秀徳 (柏桑野木田)

【50歳以上の男子 6km】

- 1位 出町 繁 (青森市)
 2位 佐々木栄治 (板柳町)
 3位 鏡山 進 (青森市)

【小学生4年生以上女子の部 3km】

- 1位 山口美智子 (木造土滝)
 2位 近藤 瑛美 (木造桜川)
 3位 新谷志緒里 (鶴田町)

【中学生女子の部 3km】

- 1位 木村 朱里 (柏玉水)

【高校女子の部 6km】

- 1位 渋谷 佳澄 (柏桑野木田)

【一般女子の部 6km】

- 1位 川越 七重 (柏桑野木田)
 2位 川崎 順子 (木造蓮花田)



第1回 つがる市民健康マラソン大会

百三十名が健脚を競う

七月十日、第一回つがる市民健康マラソン大会が開催され、およそ百三十名の選手がつがる地球村円形劇場前を発着点とした特設コースで、6キロから1・5キロまでの10部門で健脚を競いました。

大会は、参加者同士の交流を深めながら健康増進を図つてもらうと行われたもので、この日はあいにくの小雨の中、参加者たちは一般や高校、中学校、小学四年生以上、五十歳以上などの各部に分かれて健脚を競いました。

また親子で1・5キロを走るファミリーの部には二十五組、五十人が参加し、それぞれのペースで走りながら、心地よい汗を流していました。



ファミリーの部に出場した参加者



始球式をする福島市長

第二回つがる市長杯ゲートボール大会

七月八日、柏ゲートボール場で、第一回つがる市長杯ゲートボール大会が行われ、十六チーム九十二名が参加し熱戦を展開しました。

開会式で福島市長は「日頃の練習の成果を十分発揮し頑張つて下さい」と激励。結果、第一位が三ッ館チーム、第二位広須チーム、第三位は下繁田Bチーム、下町Bチームでした。



柏小学校が小学校の部で優勝



木造中Aが中学校の部で優勝

第一回つがる市長杯 小・中学生サッカー大会

七月二十九日から三日間、柏サッカー場で第一回つがる市長杯小・中学校サッカー大会が、開催され、柏小と木造中Aチームが市長杯の栄冠に輝きました。

小学校の部

- 第1位 柏小学校
 第2位 明道小学校(深浦)
 第3位 木造(林・永田合同)

中学校の部

- 第1位 木造中学校A
 第2位 館岡中学校
 第3位 深浦中学校

シーズン中の安全を祈願

出来島海水浴場海開き

「海の日」の七月十八日、出来島海水浴場で海開きが行われ、関係者らがシーズン中の安全を祈願しました。

この日は、薄曇りで風が強く、遊泳禁止の旗が上がったため、訪れた親子連れらは海岸に打ち寄せる波と戯れて歓声を上げたり、昼食でバーベキューを楽しんだりしました。海開きに先立ち、ライオンズクラブや地元住民らおよそ百名が参加して、流れ着いたプラスチック、空き缶、ロー

プなどのごみを拾い砂浜を清掃しました。同海水浴場は、八月二十四日までの期間中、監視員が常駐しています。



清掃奉仕をする親子連れの参加者



つがる地球村・平滝沼公園に植樹

つがる市観光協会

七月二十一日、つがる市観光協会（伊藤良二会長）が、つがる地球村と平滝沼公園に、レンゲツツジ百本を植樹しました。

旧木造町観光協会のころから



苗木を植える福島市長

地域の環境美化の一環として毎年、平滝沼公園や亀ヶ岡公園で植樹を行ってきました。同協会では、観光の拠点として整備が進められているつがる地球村でも、初夏に花が咲くツツジを選び植えたもので、伊藤会長は「市の観光の中心となる地球村の整備のため、お手伝いしたい」とあいさつ。福島市長は「毎年、植樹していい環境にしていきたい」と述べました。



ゲストの松田龍平さん(左)、新井浩文さん(中)と福島市長

フラットで納涼祭

七月十七日、むらおこし拠点館「フラット」(豊富町)でフラット納涼祭が行われました。

この祭りはむらおこし拠点館活性化推進協議会が主催し、ビアガーデンやビンゴゲーム、○×クイズ、楽歌声の会による歌謡ショー、JA富范女性部によるよさこいソーランなど盛りだくさんのイベントが開催され、訪れる多くの方々が祭りを楽しましました。

中でも夜に行われた、JA女性部によるよさこいソーランでは大きな拍手が鳴りやまず、アンコールもとびだしました。



JA富范女性部によるよさこいソーラン

縄文メロンアワードを開催

第十四回あおもり映画祭

七月十七日、「@fff」第十四回あおもり映画祭の最後を飾る「縄文メロンアワード2005」が、生涯学習交流センター松の館とイオン柏のシネマビレッジ8で開催されました。ゲストには松田龍平さんと、弘前出身の新井浩文さんが訪れ、二人には福島市長から特産のメロンがプレゼントされました。

松の館では「青い春」「恋愛写真」、シネマビレッジ8では

「恋の門」を上映しました。

いずれも松田龍平さんが主演の作品で、約三百人のファンが駆け付け、遠くは北海道や大阪府から来たファンもいました。

松田さんは「一度公開されたものが、何度も上映されることはとても幸せです」とお礼を述べ、青い春で共演した新井さんは「撮影中もよく二人でおしゃべりしています」など撮影にまつわる裏話などを披露しました。

赤ちゃんふれあい

森田中学校二年生が体験

七月十二日、森田保健福祉センターにおいて「第十二回もりた赤ちゃんふれあい教室」が開催されました。

この教室は、森田中学校二年生が、乳幼児とのふれあいを通じて、自分自身の成長を受け止め、生命の大切さを学ぼうと、平成六年から開催しています。

中学校では、総合学習として取り組み、事前に保育士からの講義や、産婦人科医から生命の誕生についての講義を受けました。さらに赤ちゃん人形を使ってだっこや着替えの練習を積んでと万全の準備を整えてのふれあい教室となりました。



当日、首がすわったばかりの赤ちゃんを抱っこした中学生からは「思っていたより重い」「赤ちゃん人形とは全然違う」「すごく温かい」「肌がやわらかい」という感想が聞かれました。

人見知りでなかなか慣れない赤ちゃんを相手に、一緒に遊ぶうと頑張る生徒、汗だくになりながら走り回る赤ちゃんを一生懸命追いかける生徒、おんぶひもを使って上手に赤ちゃんをおんぶする生徒など貴重なふれあい体験でした。参加した中学生は、この日の感想を新聞にまとめ学校の文化祭で発表する予定です。

健康推進課だより

朝食を食べていますか？

暑い夏は食欲を減退させたり、夜更かし等のため、朝食を食べずに一日を過ごすことが多くなりがちです。

食事を規則正しくとることは、一日のリズムを調節する効果があります。特に朝食は、体を目覚めさせるということでも大切な働きがあります。

元気に夏を乗り切るために朝食をしっかり食べましょう！

【朝食力】はすごい！

①体温を上げて活動を活発にする力

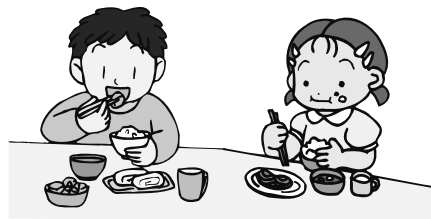
日中活発に働くためには、体温を上昇させる必要があります。体を動かして一時的に体温を上昇させても、朝食抜きだとエネルギー源がないので、体温を維持させることができません。体温が低いと動きが鈍くなるだけでなく、イライラしたり、集中力がなくなります。朝食を食べると血糖値が上がり、体が目覚め、学習の集中力が増え、作業能力も良くなります。

②腸を刺激しておなかの中をきれいにする力

胃に食べ物が入ると、胃酸の働きをコントロールして、胃や腸の働きを活発にして、消化吸収力がアップし、排便がスムーズになります。

③肥満を防ぐ力

朝食を抜くと、食べ物をエネルギーに変える力が弱くなって、体に脂肪がたまりやすくなってしまいます。また、一食抜くことで、おやつが増えたりして一日の栄養バランスが崩れやすくなります。



【何をどう食べる？】

今食べていない人は、とにかく食べることから始めてみましょう。

まずは、牛乳や野菜ジュースを飲んだり、ヨーグルトを食べてみましょう。

でも、人間はかむことで脳の血行が良くなって目が覚めるので、少しずつ固形物も食べていきましょう。今の季節は、もぎたてトマトのまるかじりもおいしいです。

【簡単朝食メニューの紹介】

- ・じゃこおにぎり
普通に炊いたおにぎりに、しらすとゆでた大根菜のみじん切り、白ゴマを混ぜる。
- ・ゆで卵とプチトマト
- ・みそ汁
- ・牛乳
じゃが芋、にんじん、玉ねぎ、油揚げ等入れて具だくさんに。



自分の地域でとれる旬の食材は、新鮮で栄養たっぷり。積極的にメニューにとり入れてたくさん食べましょう。

☆お問い合わせは、健康推進課まで。
内線二四四

社会福祉協議会で夏まつり

7月26日、しゃこちゃん温泉駐車場で、市社会福祉協議会木造支所の利用者や家族250名と中学生、高校生のボランティアが参加して夏まつりが行われました。

まつりでは、出店やカラオケ、くじ引き、職員による寸劇などが行われ参加者が楽しみました。



明るく元気な街に 第55回社会を明るくする運動/パレード

7月19日、市役所から木造中央公民館まで、第55回社会を明るくする運動/パレードが行われました。

この「社会を明るくする運動」は、すべての国民が、犯罪の防止と罪を犯した人たちの更正について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動として行われています。

仮装パレードぎんなん荘を訪問

木高祭

7月16日、木造高校の文化祭「木高祭」が開幕し、生徒約200人が木造の中心街を仮装パレードし、ぎんなん荘を慰問しました。

仮装パレードは、入所者の前でパフォーマンスを披露し、盛んな拍手が送られました。



海開きを前に海水浴場を清掃

木造西中

7月8日、木造西中学校生徒たち約50名が総合学習の一環として出来島海岸で清掃活動を行いました。

これは出来島海岸の海開きを前に訪れる人が気持ちよく楽しんでもらうために毎年行われているもので、冬期間に流されてきた漂流物のプラスチックや空き缶、ビン、木材などのゴミを拾い集めました。

森林と緑を大切に

緑の少年団交流会

7月26日、つがる地球村で、西北地方の緑の少年団交流会「グリーンジャンボリー」が開かれ、緑の少年団員らおよそ400人が木工教室やウォークラリーなどを通じて森林と緑の大切さについて理解を深めました。

参加した児童たちは25人ほどの各班に別れ、木工教室では持参した金槌で釘を打つのに四苦八苦しながら鉢置き台の製作をしました。またウォークラリーでは、自然に関するクイズに挑戦していました。





百歳を祝い誕生会

明治38年生れの長谷川みよさんが、7月8日で100歳を迎え、入院している尾野病院温泉病棟で誕生会が行われました。

福島市長は「これからも元気で長生きして下さい」と花束を手渡し長寿を祝いました。長谷川さんは足腰も丈夫で食欲も旺盛で、この日も手押し車を押しながら歩いて会場にきました。用意されたケーキのローソクを消して拍手を受けていました。

出野里で獅子踊りを奉納

7月15日、出野里神明宮の宵宮で、出野里獅子踊保存会が獅子踊を奉納しました。

昭和60年度の獅子踊り復活以来、受け継がれてきた「出野里小学校獅子踊り」が5月で幕を閉じましたが、今後は地域で継承していくことになり、宵宮での披露となりました。奉納では、児童の「小獅子」と卒業生らで構成された「若獅子」による「正調出野里獅子踊」が奉納披露されました。



東北・全国大会がんばってきます

向陽小学校（木造）の児童7人が、東北大会、全国大会への出場のため、福島市長を訪問し健闘を誓いました。

訪問したのは、柔道の工藤千佳さん（6年）、太田寛隆くん（5年）、卓球の小山内優奈さん（3年）、陸上の葛西勇真くん（5年）、渋谷直寿くん（6年）、相撲の野呂健治くん（5年）、野呂幸治くん（4年）の7人で、福島市長は「けがをしないように体調に気を付けて頑張ってほしい」と激励しました。



車力で地引網体験

7月17日、木作町内会（白戸英行会長）では、会員らの交通安全意識を高めようと、車力サンセットドームで市警察署員を招き、交通安全実施学習会を行いました。

その後、参加者らは車力漁港近くの砂浜で、地引網体験をしました。網に入った魚をつかんで、子供たちは大はしゃぎして楽しんでいました。



みんなで街をきれいに

7月10日（日）、近野・十文字子供会（太田博文会長）が、街をきれいにしようとゴミ拾いをしました。

子供たちは「こんなにゴミが落ちてら」と言いながら、暑い中汗を流しながら清掃作業をしました。子供達は道路がきれいになり喜んでいました。

老人保健福祉計画・介護保険事業計画策定委員会委員の募集

平成18年度から平成20年までの介護保険事業計画、併せて老人保健福祉計画を策定するため策定委員を下記のとおり募集します。

応募資格 市内に住所を有する満40歳以上の方で、平日の午後に2時間程度の会議に参加できる方。

募集人員 5名

応募方法 官製はがきに次の事項を記入して申し込みください。

①住所 ②氏名 ③生年月日 ④職業 ⑤電話番号

申込先 つがる市木造若緑61の1 福祉課介護保険係 あて

応募締切 平成17年8月26日(金)

その他 応募者多数の場合は地域・年齢などの割合を考慮し決定します。

なお、応募者全員に採用可否の結果を通知します。

問い合わせ 市役所福祉課 内線235

地域安全ウォーキング in車力参加者募集

1. 日時 平成17年9月18日(日)
午前7時～受付
午前8時～開始
2. 場所 車力温泉前(スタート・ゴール)
3. コース
Aコース 車力温泉前—車力農道—フラット(往復6km)
Bコース 車力温泉前—フラット—呑龍岳(往復16km)
4. 参加料 1,000円(高校生以下無料)
※参加料には、車力温泉入浴券、昼食券(砂丘とろろ)、傷害保険等が含まれます。
5. 持ち物 飲み物、おやつ等
6. 申込締切 平成17年9月9日(金)
7. 主催 地域安全ウォーキングin車力実行委員会

問い合わせ・申込み

市役所車力支所総務財政課 電話56-2111

牛潟(2)・筒木坂屏風山遺跡 現地説明会について

市では、今年6月から、牛潟(2)遺跡及び筒木坂屏風山遺跡の発掘調査を実施しております。

この発掘調査で得られた成果を市民の皆さんに公開するため、現地説明会を開催します。

考古学に興味のある方や古(いにしえ)の浪漫に浸りたい方など、多数参加ください。

1. 日時 8月21日(日)雨天決行
〔牛潟(2)遺跡〕午前10時～正午
〔筒木坂屏風山遺跡〕午後1時～午後3時
2. 場所
〔牛潟(2)遺跡〕牛潟町牛潟池北側から西側に入る進入路があり、県道から100m位。
〔筒木坂屏風山遺跡〕館岡と筒木坂の中ほどに田小屋野集落があり、そこから西側に入る進入路を進み県道から400m位。
※現地への道路は狭いうえ、農地に接しているので、迷惑にならないよう安全運転をお願いします。

問い合わせ 市教育委員会文化課 電話49-1200

平成17年度 つがる市戦没者追悼・平和祈念式 の開催時間変更について

平成17年8月23日開催のつがる市戦没者追悼・平和祈念式の開催時間が、次のとおり変更になりましたのでよろしくお願いします。

日時 平成17年8月23日(火)

午前9時30分から

場所 生涯学習交流センター「松の館」

※詳しくは 市役所 福祉課 内線245

出稼者安全就労推進集会の開催について

市では「安全で明るい出稼」を推進するため、出稼者安全就労推進集会を開催します。

1. 日時 平成17年9月6日(火)
午後12時30分 健康診査
午後1時30分 推進集会
2. 場所 生涯学習交流センター「松の館」
※集会終了後、アトラクションがありますので、出稼ぎ予定者、留守家族の方々はお誘い合わせのうえ、ご出席下さい。

問い合わせ 市役所市民課 内線263

平成18年度採用 市職員を募集

1 職種及び採用予定人員

消防職 3名程度

2 受験資格

- (1) 昭和53年4月2日以降に生まれた者で、学校教育法による高等学校若しくはこれと同等と認められる学校以上の卒業生又は平成18年3月末日までに卒業見込みの者
- (2) 普通自動車運転免許1種以上を取得している者（取得予定の者を含む）
- (3) 身体強健で、身長概ね160cm以上、体重概ね50kg以上、視力は、矯正視力を含み、両眼で0.7以上、かつ一眼で0.3以上の者、また赤色、青色、黄色の色彩の識別が出来、左右の聴力とも正常である者

※採用後、つがる市内または近郊に居住することが出来、通勤に支障がないこと。

3 受験できない者

- (1) 日本の国籍を有しない者
- (2) 地方公務員法第16条に該当する者

4 試験の日時、場所

第1次試験 平成17年10月16日(日) 午前9時

つがる市生涯学習交流センター「松の館」

第2次試験 平成17年11月27日(日) 午前9時

つがる市消防本部 2階会議室

5 試験の内容

(1) 第1次試験

ア 教養試験（5 枝択一式筆記試験、40題 2時間）

イ 消防適性検査（5 枝択一式筆記試験、100題 20分）

ウ 体力及び運動能力を測定するための簡単な実技試験

(2) 第2次試験（第1次試験の合格者に対して、実施します）

ア 面接試験

6 受験手続

(1) 受験申込書の請求

ア 総務部人事課、森田支所、柏支所、稲垣支所、車力支所、つがる市出張所（イオン柏内）、市消防本部で配付します。

イ 郵送で請求する場合は、返信先を明記した返信用封筒（120円切手を貼ったA4版サイズのものを）を同封し、郵送用封筒の表に「受験申込書請求」と朱書きの上、つがる市総務部人事課へ請求してください。（郵送による請求は、9月2日(金)必着分まで受付します）

(2) 申込方法

ア 受験申込書に必要な事項を記入し、必ず顔写真（縦4cm×横3cm）を貼ること。

イ 最終学校の卒業証明書又は卒業見込証明書を添付してください。

ウ 受験票には住所・氏名を明記の上、返信はがき部分に50円切手を貼り、「つがる市総務部人事課」に提出してください。

エ 郵送の場合は、受験票に住所・氏名を明記の上、返信はがき部分に50円切手を貼り、郵送用封筒の表に「試験申込」と朱書きをして、必ず配達記録郵便または簡易書留郵便で、「つがる市総務部人事課」へ郵送してください。

(3) 受付期間

平成17年8月15日(月)から平成17年9月9日(金)までの間で、市役所執務時間内（午前8時30分～午後5時まで）に限り、「つがる市総務部人事課」で受け付けます。なお、郵送の場合は9月9日必着とします。

7 試験結果の開示

この試験で不合格になった人は、本人情報（成績）の開示を請求することができます。

問い合わせ 市役所総務部人事課 内線353

つがる市 かしわ夏まつり (盆踊り大会)

日時 8月20日(土)受付午後6時～
開始午後6時30分～

場所 イオン柏ショッピングセンター前特設会場
※団体の受付は、当日会場で行い、先着30組までとします。

個人飛び入り
参加大歓迎

つがる市
合併記念



参加賞品多数有

問い合わせ つがる市商工会 電話42-2449

きづくり ネブタまつり

ネブタ大賞

雲谷の頓慶と七鬼面

范中ねぶた愛好会

市長賞

上町倭武多会

商工会長賞

国引

千代町町内会

観光協会賞

本能寺の変

松原青年有志会

ネブタ制作賞

赫不動

木作町内会

囃子賞

本能寺「奥の居間」

蓮沼ネブタ実行委員会

囃子賞

関興「奮戦の図」

有楽町町内会

踊り賞

雷神

横町ねぶた有志

踊り賞

魑魅魍魎跳梁舞

劇団 夜行館

大賞はお前だ!!

七月二十八日から三十日まで
「きづくりネブタまつり」が開催
され、多くの人で賑わいました。

ぼんぼんも出陣!
スカーマンが大暴れ!